

沖縄を戦場にすな！ 「7・7盧溝橋事件」から87年 再びの中国侵略を許さない！

■猛暑を吹き飛ばし、30名で浦和反戦デモ



7月7日、大行進埼玉として第5弾となる反戦デモをやり抜きました。87年前のこの日—1937年7月7日は、日本が全面的な中国侵略戦争に突入する発端となった盧溝橋事件が勃発した日です。現在、岸田政権はアメリカとともに中国への侵略戦争を全力で準備し、周辺での軍事演習を繰り返しています。当時をほうふつとさせるような状況です。

私たちは「再びの中国侵略を絶対に許さない！」と決意を新たに、猛烈な暑さを吹き飛ばしてデモに立ち上がりました。



デモ前のリレーアピールでは「新紙幣の肖像となった渋沢栄一は中国・アジア侵略の先兵であり象徴。県知事が議会でシルクハットをかぶって登場するなどのパフォーマンスは絶対に許せない！」「戦争のための地方自治法改悪を許さない」「今こそ、沖縄民衆の怒りと連帯し、第三次安保・沖縄闘争を」など、様々な立場・角度から戦争絶対反対のアピールがなされました。

JR・関連会社の労働者で組織する労

改憲・戦争阻止！大行進埼玉(埼玉反戦デモ実行委員会)

呼びかけ人 高木美佐子(長崎被爆者・すべての原発今すぐなくそう全国会議(NAZEN)埼玉代表) / 皆川学(元NHK労働者) / 堀江淳一(元自治労埼玉県本部書記長) / 鈴木喜平(国鉄高崎動力車連帯労働組合委員長) / 田畑典保(一般合同労組さいたまユニオン委員長)

FAX 048-554-2806 メールアドレス: saitamahansen@gmail.com

X(旧ツイッター) アカウント @saitamahansen QRコード→



働組合である動労連帯高崎の木村書記長は「労働組合のもっとも基本的な任務として戦争に反対する」と断言。

東京外国語大学名誉教授の藤田進さんもマイクを握り「87年前、盧溝橋事件の時も東京は『平和な光景』だった。パレスチナの状況を見ても、今現実には戦争が始まっていて、平和ではない。声をあげることが必要」と力を込めた訴えがされました。



■一体誰のための戦争か！

7日におこなわれた都知事選挙でも、当選した小池氏をはじめ、戦争反対を訴えた候補者はまったくいませんでした。沖縄で起きた米兵による女性への性的暴行事件は、日米政府によって隠ぺいされました。米大使・エマニュエルは米軍の沖縄駐留について「負担ではなく責任」と言い放っています。女性や住民はいくら犠牲になっても構わないということです。このような政府・軍隊がやろうとしている戦争が、住民を守るわけがありません！ 自衛官は民衆の側に立ち、反乱の銃を取る時です。

反戦デモはまだまだやります。ぜひ参加を！

大行進は戦争阻止・実力闘争を闘ってます！ 戦争は止められる！

**5月沖縄闘争で辺野古工事を止め、
6月首都・東京で1000人の実力
デモ打ち抜く！！**

5月19日
辺野古ゲート前
座り込みで工事
を阻止



6月9日東京・港区
デモ指揮は矢島尋全
学連副委員長

**8・6広島「集会禁止」を打ち破り
反戦・反核の声を！**



「8月6日朝の平和公園の立ち入り規制を撤回せよ」。「8・6ヒロシマ大行動」が広島市役所の秘書課に座り込んで抗議。申入書を受け取らせた。
(6月13日)

■改憲・戦争阻止！ 大行進埼玉（埼玉反戦デモ実行委員会）への加入・カンパをお願いします！

私たちは沖縄をはじめ全国の仲間と連帯し、戦争絶対反対で活動していきます。ビラの作成・印刷、8・6広島現地闘争など、多くのお金が必要です。会への加入とカンパを、ぜひお願いします。